

フードテックを活用した新しいビジネスモデル実証に対する支援事業

支援対象者	フードテック等を活用し新たな商品・サービスを生み出す単独の事業者及びコンソーシアム		
対象品目	フードテック等を活用した新たな商品・サービス		
支援内容類型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出のために施設の新設・整備や、機器のリースを行いたい ・ 輸出向けの商品開発や品種改良を行いたい（添加物・パッケージ対応を含む） ・ 海外でプロモーションを行いたい ・ 輸出可能性の検証に向けてテスト輸出/海外店舗においてテスト販売を行いたい 		
支援内容	<p>（ハード支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実証に必要な設備、機材費等 <p>（ソフト支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実証に必要な人件費、原材料費、検査・分析費等 		
申請要件	・ フードテック等を活用した新たな商品・サービスを生み出すビジネスモデルを実証する取組であること		
申請先	民間団体等	公募時期	令和4年2月下旬～3月上旬（予定）

問合せ先：農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 企画グループ 新事業創出班

メール：shinzigyou@maff.go.jp 電話：03-6744-7181

フードテックを活用した新しいビジネスモデル実証事業

支援対象者	フードテック等を活用し新たな商品・サービスを生み出す単独の事業者及びコンソーシアム		
対象品目	フードテック等を活用した新たな商品・サービス		
支援内容類型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出のために施設の新設・整備や、機器のリースを行いたい ・ 輸出向けの商品開発や品種改良を行いたい（添加物・パッケージ対応を含む） ・ 海外でプロモーションを行いたい ・ 輸出可能性の検証に向けてテスト輸出/海外店舗においてテスト販売を行いたい 		
支援内容	<p>（ハード支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実証に必要な設備、機材費等 <p>（ソフト支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実証に必要な人件費、原材料費、検査・分析費等 		
申請要件	・ フードテック等を活用した新たな商品・サービスを生み出すビジネスモデルを実証する取組であること		
申請先	民間団体等	公募時期	令和4年4月下旬～5月上旬（予定）

問合せ先：農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 企画グループ 新事業創出班

メール：shinzigyou@maff.go.jp 電話：03-6744-7181

食品産業の国際競争力強化緊急対策事業のうち フードテックを活用した新しいビジネスモデル実証に対する支援事業

【令和3年度補正予算額 100百万円】

<対策のポイント>

食品産業の国際競争力の強化に向け、食品事業者等の関係者が企画・実行する、**フードテック等を活用したビジネスモデルの実証を支援**します。
また、これらの実証の**成果の横展開を図るための情報発信等の取組を支援**します。

<事業目標>

フードテック等を活用した新たな商品・サービスの創出

<事業の内容>

1. 新事業プロジェクト推進支援

国内の食品事業者、流通事業者、製造事業者、情報関連事業者、大学等の研究機関、食育・栄養関係団体等によるフードテック等を活用した**新たな商品・サービスを生み出すビジネスモデルを実証する取組を支援**します。

想定されるビジネスモデル（例）

- 増大する食に関する需要への対応と環境負荷低減の両立のための、植物性タンパク質食品や環境負荷を下げる家畜飼料の提供 など
- 循環型社会の実現のための、廃棄物を活用し育成した昆虫や藻を使用する飼料の提供 など
- 医食同源を通じた健康増進のための、個々の消費者に必要な栄養バランスを考慮した食品の提供 など
- 高齢者など食の制約のある者も食を楽しめる、3Dフードプリンターを使った介護食の提供 など

2. 横展開に向けた情報発信等

上記の取組により実証された内容の横展開を図るため、実証成果をとりまとめたウェブページ等の成果物の作成、セミナーの開催等による**情報発信等の取組を支援**します。

<事業の流れ>

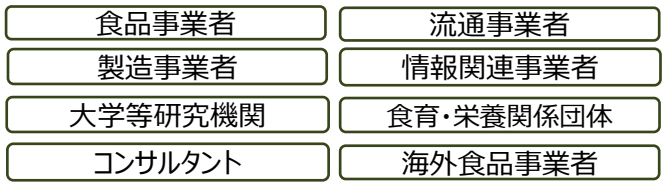


<事業イメージ>

技術

植物性タンパク質を用いた食品、3Dフードプリンター等、多様な食に関する需要に対応するための新しい技術

関係者



産学官、異分野、同業種連携等による、「PoC（Proof of Concept）止まりの壁」のブレイクスルー（単独でのビジネスモデル実証の実施も可）

ビジネス化



事業戦略検討、試作品製造、マーケティングリサーチ、商品デザイン、テストマーケティング、販路確保、原材料確保

結果



SDGsの達成に資するプロジェクトとしてPR

新たな市場の創出
我が国食品産業の競争力強化
環境負荷の低減
健康の増進

新事業創出・食品産業課題解決調査・実証等事業のうち フードテックを活用した新しいビジネスモデル実証事業

【令和4年度予算概算決定額 30百万円】

<対策のポイント>

多様な食の需要への対応や食に関する社会課題の解決を図るため、食品事業者等の関係者が企画・実行する、フードテック等を活用したビジネスモデルの実証を支援します。

また、これらの実証の成果の横展開を図るための情報発信等の取組を支援します。

<事業目標>

フードテック等を活用した新たな商品・サービスの創出

<事業の内容>

1. ビジネスモデル実証事業の支援

国内の食品事業者、流通事業者、製造事業者、情報関連事業者、大学等の研究機関、食育・栄養関係団体等によるフードテック等を活用した**新たな商品・サービスを生み出すビジネスモデルを実証する取組**を支援します。

想定されるビジネスモデル（例）

- 増大する食に関する需要への対応と環境負荷低減の両立のための、植物性タンパク質食品や環境負荷を下げる家畜飼料の提供 など
- 循環型社会の実現のための、廃棄物を活用し育成した昆虫や藻を使用する飼料の提供 など
- 医食同源を通じた健康増進のための、個々の消費者に必要な栄養バランスを考慮した食品の提供 など
- 高齢者など食の制約のある者も食を楽しめる、3Dフードプリンターを使った介護食の提供 など

2. 横展開に向けた情報発信等

上記の取組により実証された内容の横展開を図るため、実証成果をとりまとめたウェブページ等の成果物の作成、セミナーの開催等による**情報発信等の取組**を支援します。

<事業の流れ>

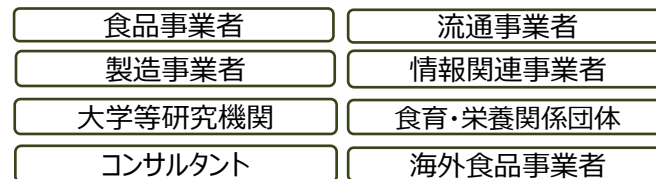


<事業イメージ>

技術

植物性タンパク質を用いた食品、3Dフードプリンター等、多様な食の需要や食に関する社会課題を解決するための新しい技術

関係者



産学官、異分野、同業種連携等による、「PoC（Proof of Concept）止まりの壁」のブレイクスルー（単独でのビジネスモデル実証の実施も可）

ビジネス化



事業戦略検討、試作品製造、マーケティングリサーチ、商品デザイン、テストマーケティング、販路確保、原材料確保

結果



SDGsの達成に資するプロジェクトとしてPR

新たな市場の創出
我が国食品産業の競争力強化
環境負荷の低減
健康の増進

【お問い合わせ先】 大臣官房新事業・食品産業部企画グループ (03-6744-7181)